

| | | | | | | |
|-------------------------|--|---------------|----|--------|----|-------|
| 看護専門科目 | 広域発展看護学 | | | | | |
| 看護学科 | 選択 | 1 単位 | 講義 | 平成30年度 | 後期 | 4 年次 |
| | | | | | | |
| 科目名 | 緩和ケア論 | | | | | |
| 担当教員 | ◎松井利江 松尾理代 池嶋三賀 | | | | | |
| 目的 | 終末期にある患者とその家族の苦しみを緩和し、QOLを高めるためのケアの実際を学ぶ | | | | | |
| 目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期患者と家族の特徴を身体・心理・社会・スピリチュアルな側面から理解できる 2. 終末期患者と家族の苦痛を緩和するための具体的なケアについて理解できる 3. 終末期患者と家族が直面する倫理的問題とその援助を理解できる 4. 終末期患者と家族のケアにおける看護師の役割を理解できる 5. 生と死について、自らの考えを述べるができる | | | | | |
| 他科目との関連 | 「共通基盤看護学概論Ⅱ」「共通基盤看護学概論Ⅱ・Ⅲ」「共通基盤看護学実習Ⅱ・Ⅲ」「がん看護論」等と密接に関連する。 | | | | | |
| 評価方法 | 項目 | 評価の内容 | | | | 評価の比率 |
| | 筆記試験 | 定期試験 | | | | 0.8 |
| | レポート | 課題レポート（受講前・後） | | | | 0.2 |
| | | | | | | |
| 評価基準 | 総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。 | | | | | |
| 教科書 | 指定なし。資料は講義ごとに配布する。 | | | | | |
| 参考資料 | <p>長江弘子（編）看護実践にいかすエンド・オブ・ライフケア，日本看護協会出版会，2014</p> <p>寺島朋美（編）対象喪失の看護—実践の科学と心の癒し，中央法規出版，2010</p> <p>恒藤暁（著）系統看護学講座 別巻 [7] 緩和ケア，医学書院，2014</p> <p>恒藤暁（著）系統緩和医療学講座 身体症状のマネジメント，最新医学社，2013</p> <p>鈴木和子，渡辺裕子（著）家族看護学 理論と実践 第4版，日本看護協会出版会，2012</p> | | | | | |
| 備考 (受講上注意、 事前学習等) | <p>*事前課題レポートあり。（600字程度）詳細は、ポータルサイトにて連絡する。</p> <p>*本科目は、緩和ケアにおける基礎知識は修得していることを前提として講義する。したがって、受講にあたり共通基盤看護学実践論Ⅱをはじめとした、緩和ケアに関する内容を復習して臨むことを条件とする。</p> <p>*グループワークによる討議も行う。主体的な参加を期待する。</p> | | | | | |